

答 申 書

～常呂自治区内事業の今後のあり方について～

平成30年11月
常呂まちづくり協議会

平成30年11月 1日

北見市長 辻 直 孝 様

常呂まちづくり協議会
会長 中 村 弘 幸

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成30年8月30日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

～答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、平成 30 年 8 月 30 日の第 3 回協議会において、市長から「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 ー未来を拓く活力創造都市 北見ー』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

本協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、今後の「常呂自治区におけるまちづくり」を進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた 5 つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区としての今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、取捨選択を実施した結果、10 事業を最優先事業として掲げました。



市長におかれましては、第 1 次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたり、このような議論経過をご理解いただくとともに、事業の重要性や緊急性などをご精査のうえ、早期に事業を推進していただきますようお願いいたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中ではありますが、「安全・安心のまちづくり」を強化・推進するとともに、限られた財源の中、効率的な行財政改革に積極的に取り組んでいただき、本協議会で出された意見等につきましては、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくとともに、自治区の特性を活かしたまちづくりの推進に向け、市長のリーダーシップが発揮されることを期待いたします。

常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第1次実施計画」に盛り込むべき事業～

基本目標1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

〈優先事業〉

- 常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築事業
- 川沿保育所園舎解体事業

常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築事業は、常呂自治区における園児数の減少や施設の老朽化等への対応が必要とされている中、分散している施設の集約を図ることにより、保育機能の充実や安定した教育・保育環境の将来にわたる確保のため、常呂保育園・かもめ保育所・常呂子育て相談センターを統合し、計画どおり平成32年4月開園を目指し、円滑に整備することが求められています。

川沿保育所は、入所児童が年々減少してきたことにより、平成29年3月をもって閉所しましたが、昭和52年に建設した施設は老朽化が著しい状況であり、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

基本目標2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

《最優先事業》

◎常呂町多目的研修センター施設整備事業

常呂町多目的研修センターは、文化祭や成人式などの社会教育活動のほか、各種イベントなどで広く利用され、市民に親しまれている施設であります。開館後36年が経過し、入口エントランスや消防設備等の経年劣化が著しく、備品類の多くが摩耗しており、特に大ホールのダウンライトは点灯しない状況にあるため、施設の運営に支障を来している状況です。

市民の生活、文化の向上と福祉の増進を図るための生涯学習拠点施設として、より良い施設サービスを提供するため、早期の改修・更新が必要です。

◎常呂遺跡世界遺産登録推進事業

常呂遺跡世界遺産登録推進事業は、常呂遺跡の学術的価値やその重要性を広く世界に発信し、多くの人々に理解を深めていただくとともに、地域の活性化にもつながる大変重要な事業です。

世界遺産への登録にあたっては、地域住民の関わりと多様な取り組みがその評価を左右する大きな要因になることから、文化財についての理解を深める取り組みを積極的に展開するとともに、

東京大学や関係市町村と連携し、オホーツク圏域全体で世界遺産登録に向けての機運を盛り上げていくことが必要です。



ところ遺跡の森

〈優先事業〉

- 学校屋根改修事業
- 廃校校舎等解体事業
- 常呂学校給食センター配送車更新及び車庫設置事業
- 常呂町スポーツセンター整備事業
- 常呂町健康温水プール整備事業
- 常呂町カーリングホール整備事業
- 史跡常呂遺跡整備事業

川治小学校、錦水小学校は、それぞれ築 30 年以上が経過し、校舎・屋体屋根の老朽化が著しく、塗装が劣化し、一部雨漏りが発生している状況にあります。児童の学習・生活に必要な空間・学習環境を確保するために適切な施設整備が必要です。

川治小学校旧校舎は、昭和 35 年に建設された施設で、現川治小学校校舎が整備されてからは倉庫等に使用されてきましたが、老朽化が著しい状況であり、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

常呂学校給食センターは、常呂自治区内の小中学校に学校給食の配送・回収を行っています。現在、稼働中の配送車は、平成 4 年度に購入してから 20 年以上が経過し老朽化が著しいことから、学校給食の安定供給を図るため、車両の更新及び車庫の設置が必要です。

常呂町スポーツセンターは、昭和 51 年に建設された施設で、耐震診断を行うことが義務付けられていることから、早急な対応が求められます。カーリングホールと一体となったスポーツ施設としての機能の充実を図り、合宿受け入れ環境の向上を目指すほか、市民の体力向上の拠点施設として、要望の高いトレーニング機器の設置や経年劣化した設備等の計画的な更新を推進するとともに、ハード面だけではなく、指導員の配置などソフト面の充実による利用環境の改善に向けた検討が必要です。

常呂町健康温水プールは、市民の健康維持・増進を図るための施設であります。建物はオホーツク海に面する厳しい立地条件にあり、老朽化が進んでいる状況にあることから、利用者の安全を確保するため、適切な対応が必要です。機械・設備類についても、経年劣化が著しく、施設運営において支障を来たす状況も想定され、計画的に機械・設備類の更新を行うことが求められます。

常呂町カーリングホールでは、カーリングというスポーツの紹介、北見市のカーリング普及の歴史、オリンピック出場歴史等をわかりやすく掲載するため 2階交流サロンの壁面改修を行うほか、愛称名を表示するサブサインを設置することにより、カーリング及び北見市の効果的な PR に努める必要があります。

史跡常呂遺跡整備事業は、オホーツク文化・アイヌ文化期を主体とする常呂川河口遺跡にかかる事業であり、「ところ遺跡の森」とあわせて北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然教育の学習拠点としての整備を目指すものです。同事業の推進にあたっては、引き続き史跡整備専門委員会をはじめ、国や北海道などの関係機関に対し、積極的に働きかけを行い、文化財の保護、啓発に努めていく必要があります。また、「復元竪穴住居」の再建や施設の改修、設備の更新について計画的な整備が必要です。

基本目標 3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

《最優先事業》

◎常呂地域排水対策事業 福山・日吉地区

常呂自治区では、5つの排水機場等を設置し、各樋門・樋管が整備され、樋門・樋管に到達するまでの農地を貫くように主要な排水路が流れているなど様々な冠水被害防止対策を講じていますが、平成28年度の大雨災害においては、広範囲の農地が冠水し、農作物への甚大な被害が発生したことから、関係機関と協議・連携し、様々な対策を計画・実施しているところです。



大雨時には各樋門・樋管において、既設や臨時に設置した水中ポンプにより対応していますが、排水能力が不足していることや必要時に速やかに対応が出来ない状況が発生しているため、事態に応じて素早く対応できる水中ポンプ等の整備を早急に行う必要があります。

◎地域おこし協力隊事業

全国的な人口減少等により常呂自治区に訪れる観光客も減少することが見込まれる中、地元で暮らしていても気づけない魅力を新たな目線や発想で再発見・発信するため、総務省が推進する「地域おこし協力隊」制度を活用し、SNS等を活用した地域情報の発信やワッカ原生花園やカーリングホールなど観光施設のガイドのほか、常呂の新たな魅力となる観光資源の発掘や体験型観光プランの企画・開発等を行うことにより、観光の再生や地域の活性化に繋げる活動に積極的に取り組む必要があります。

〈優先事業〉

- かんがい排水事業（明渠排水）常呂
- 水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）福山
- 水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）第3土佐
- 水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）第2岐阜
- 農山漁村地域整備交付金農地整備事業 富丘15号地区
- ため池等農地災害危機管理対策事業 福山23号地区
- 農山漁村地域整備交付金調査計画事業 日吉左岸地区
- ため池等農地災害危機管理対策事業 日吉左岸地区
- 農業水利施設保全合理化事業（機能保全）姉問
- 明渠排水路取付横断管応急対策事業
- 排水機場施設設備整備事業
- 幹線排水路維持管理事業
- 基幹水利岐阜排水機場更新事業
- 手工芸の館整備事業
- 常呂森林公園整備事業

かんがい排水事業、水利施設等保全高度化事業、明渠排水路取付横断管応急対策事業、幹線排水路維持管理事業については、常呂自治区内の排水路及び横断管の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るため、継続的な推進が必要と考えます。

富丘・豊川地区の主要道路である市道常呂町15号の改修整備については、同路線が大型車両等の通行が多い道路であるため、路肩の変形や舗装の損傷が著しいことから、農山漁村地域整備交付金農地整備事業により道路の安全性向上に向けた整備がおこなわれているところですが、同事業の早期完成が求められています。

ため池等農地災害危機管理対策事業、農山漁村地域整備交付金調査計画事業は、近年、大雨や台風などの自然災害が多発しており、毎年のように災害に見舞われている状況の中で、将来にわたり安定した農業経営と生産基盤を維持するため、恒久的な排水対策について、関係機関と協議し、早期の整備が必要です。

農業水利施設保全合理化事業、排水機場施設設備整備事業、基幹水利岐阜排水機場更新事業は、常呂自治区内に湛水被害防止のための施設として5つの排水機場を設置していますが、それぞれ年数が経過しており、施設の老朽化やポンプ等設備機器の経年劣化が懸念される状況にあることから、各施設の安定した稼働確保ため、施設の適切な保全や設備機器の計画的な更新整備が必要です。

手工芸の館は、築 30 年以上経過しており、老朽化による屋根・外壁の傷みが顕著な状況にあることから、大規模な改修が必要です。また、カーリングホールやワッカ原生花園と連携した体験型観光施設として、更なる周知を図るほか、地元の資源を活用する「ところ流水焼」という地域に根ざした工芸の継承・普及や市民に対して生涯学習的な活動を提供できる場として、今後の施設のあり方を検討するとともに、利用促進に繋がる積極的な取り組みが必要です。

常呂森林公園は、パークゴルフ場、百年記念展望塔などで構成されていますが、特にアスレチックは老朽化が著しく、安全性の観点から撤去が必要な状況です。また、利用者が多いバーベキューハウスについては、自然環境の保全を推進するため、浄化槽を設置することが望ましく、公共施設として適切な施設管理が必要です。

基本目標 4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

《最優先事業》

◎塵芥収集車更新事業

◎し尿収集車更新事業

塵芥収集車更新事業、し尿収集車更新事業は、いずれの事業も業務に使用する車両が一定期間を経過し、応急修繕による車両の延命化も限界を迎えている状況にあります。

それぞれの業務は地域住民の生活には欠かせない業務であることから業務が滞ることのないよう、計画的に車両の更新を行う必要があります。



腐食した塵芥収集車

◎常呂町 17.5 号線道路整備事業

常呂町 17.5 号線道路と常呂川の堤防の交差部は、市道が堤防より低くなっており、大雨災害等の出水の際に、河川水が堤内に越流する恐れがあることを受け、網走開発建設部が計画している堤防改修工事に併せて、当該道路の改良工事を実施することにより、周辺住民の安全を確保する必要があります。

◎常呂町 6 号線道路排水整備事業

常呂町 6 号線は勾配が大きいことから、大雨時に雨水が道路表面を流れ、国道 238 号線に流出し、交差点に滞水し、車両の通行に支障をきたしているため、道路排水施設を整備することにより、車両交通の安全と交通環境の保全を図る必要があります。

◎市営住宅建替事業（北進町団地）

常呂自治区内における市営住宅の整備については、今後の需要動向や利用者のニーズを考慮するとともに、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的に整備されています。

北進町団地は、築 40 年以上経過し老朽化が著しいほか、狭小であり、浴槽がないなど質の向上が望まれる状況にあり、低い断熱性能や設備水準を解消し、高齢社会に対応したバリアフリー化を実施するため、早急に建て替える必要があります。市街地の町並み整備、公営住宅利用者の利便性向上など、常呂自治区のまちづくりにとって大変重要な事業となるものであり、当該事業の計画的な整備が望まれます。

〈優先事業〉

- 常呂町斎場整備事業
- 常呂町一般廃棄物処理センター整備事業
- 常呂町基線道路整備事業
- 常呂町南町 1 号線道路整備事業
- 常呂町川端線道路整備事業
- 常呂町川東線（日吉地区）道路整備事業
- 市営バス更新事業
- 建設機械更新事業
- 普通財産建物解体事業
- 市営住宅改善事業
- 市営住宅建替事業（末広団地）
- 原水及び浄水施設整備事業
- 送配水施設整備事業
- 水道施設耐震化事業
- 特定環境保全公共下水道汚水管渠整備事業
- 特定環境保全公共下水道処理場整備事業
- 栄浦漁業集落排水施設整備事業

- 日吉地区複合施設整備事業
- 常呂自治区市街地排水対策事業
- 常呂除雪センター施設整備事業

常呂町斎場は、平成 29 年度に示された「火葬場整備基本方針」において、耐用年数を想定する中で長寿命化を図り、現行の施設は維持することとなっており、経年劣化した機械、設備等についても、安定した住民サービスを継続的に提供するために計画的な補修、更新が必要です。

常呂町一般廃棄物処理センターは、汚水処理施設、破碎処理施設、ストックヤード、最終処分場の 4 つの施設で構成されており、常呂自治区全域から排出される一般廃棄物を処理する重要な施設であります。このため、同施設の安定的な稼働が求められることから、施設機器の定期的な保守管理を行い、計画的な対応が必要です。

各道路整備事業は、道路管理の効率化や市民生活に直接かかわる生活道路の整備、安全な道路環境を維持するための事業であり、予算枠の増額確保による計画的な整備・推進が必要と考えます。

市営バスは、スクールバスとしての機能も兼ねている市民生活に不可欠な公共交通機関であります。既に 80 万km以上の距離を走行しており、車両の老朽化とそれに伴う故障の頻発や車体の腐食が進行しているため、適切な車両の更新が必要です。

建設機械更新事業は、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するため計画的な整備更新が必要と考えます。また、常呂除雪センター施設整備事業も、除雪作業の拠点として、適切に整備する必要があります。

普通財産として管理している未利用住宅は、それぞれ相当な年数が経過しているため、老朽化が著しい状況にありますが、景観や防犯上の懸念があることから計画的な解体撤去が必要と考えます。

市営住宅建替事業（末広団地）は、常呂自治区のまちづくりにとって大変重要な事業となるものであり、末広団地に関する事業についても、引き続き当該事業の計画的な実施が必要です。

市営住宅改善事業は、市営住宅の長寿命化及び居住性の向上を図るための事業であります。改築にあたっては、災害に強いまちづくりの観点から市営住宅のあり方について、検討する必要があると考えます。

原水及び浄水施設整備事業、送配水施設整備事業、水道施設耐震化事業、特定環境保全公共下水道整備事業、特定環境保全公共下水道処理場整備事業、栄浦漁業集落排水施設整備事業は、安全な水道水の安定供給や排水処理施設の整備による生活環境の向上、水質の改善など極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業の推進が必要と考えます。

日吉地区複合施設整備事業は、日吉会館、日吉出張所、日吉簡易郵便局、常呂消防団第3分団詰所といった公共施設が、いずれの施設も建設から30年以上を経過し老朽化が著しい状況です。このため、これらの公共施設を統合し、複合施設として整備することにより、機能の充実と利便性の向上を図り、避難所としての防災機能を持たせることで、安全・安心のまちづくりを進める必要があります。

常呂自治区市街地排水対策事業は、常呂市街地において、大雨時に浸水する被害が発生した際に、移動式排水ポンプによる内水排除を行っていますが、経年劣化が著しいため、資機材を更新し、災害時対応の体制を整え、災害に強いまちづくりを目指す取り組みを推進する必要があります。

基本目標5. 市民による自主自立のまちづくり

《最優先事業》

◎地域会館改修補助事業

南町町内会は常呂自治区内で最多の世帯が属する町内会で、南町の地域会館である南町会館は老人クラブの活動や町内会活動など活発に利用されている施設である一方、築33年が経過し、屋根の劣化が目立ち、施設の延命化を図るため改修が必要な状況となっています。

また、実施にあたっては、屋根改修だけではなく、トイレ水洗化工事も併せて実施することにより、環境に配慮するとともに、地域住民のコミュニティ施設としての利用拡大が図られることが望めます。



〈優先事業〉

○常呂まちづくりパワー支援補助金

まちづくりパワー支援補助金は、住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、海水浴場で開催されたイベントや映画の上映会、トークライブによる地域づくり活動等に活用されています。当該事業は、住民のまちづくりへの参加に対する意識啓発に繋がっており、個性豊かで活力ある住みよい地域社会を構築するために、今後も自治区の事情に配慮しながら、継続的に推進されることが望まれます。

常呂自治区懸案事業一覧

1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

《児童の保育・教育の充実》

1	常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築事業	常呂保育園・常呂子育て相談センター移転改築
2	川沿保育所園舎解体事業	川沿保育所園舎解体

2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

《学校教育の充実》

3	学校屋根改修事業	川沿小校舎・屋体屋根塗装、錦水小屋体屋根破風改修
4	廃校校舎等解体事業	川沿小旧校舎解体
5	常呂学校給食センター配送車更新及び車庫設置事業	給食配送車更新、配送車用車庫設置

《生涯学習の充実》

6	常呂町多目的研修センター整備事業	入口エントランス・消防設備・大ホールダウンライト改修、会議室机・各室網戸更新
---	------------------	--

《生涯スポーツの推進》

7	常呂町スポーツセンター整備事業	耐震診断（現況調査）、トレーニングルームの充実、更衣室ボイラー更新
8	常呂町健康温水プール整備事業	ウッドデッキ撤去工事、屋上防水工事、ポンプ類・ボイラー・電動弁・空調換気扇更新
9	常呂町カーリングホール整備事業	交流サロン壁面写真等改修、愛称名表示サブサイン設置

《文化財の保護・継承》

10	史跡常呂遺跡整備事業	史跡整備専門委員会議、遺跡の森復元竪穴住居再建工事、史跡常呂遺跡整備設計及び工事、各施設・設備改修
11	常呂遺跡世界遺産登録推進事業	発掘調査、出土遺物整理、重要考古資料を保護し多角的に価値を高めるための方策の調査、リーフレット・映像ソフトの製作等

3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

《持続的に発展する農業の振興》

12	かんがい排水事業（明渠排水）常呂	排水路改修
13	水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）福山	排水路整備
14	水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）第3土佐	事業計画樹立、明渠排水路調査設計、横断管改修
15	水利施設等保全高度化事業（担い手育成型）第2岐阜	事業計画樹立、明渠排水路調査設計
16	農山漁村地域整備交付金農地整備事業 富丘15号地区	農道修繕工
17	ため池等農地災害危機管理対策事業 福山23号地区	測量試験及び実施設計、排水施設整備
18	農山漁村地域整備交付金調査計画事業 日吉左岸地区	事業計画樹立
19	ため池等農地災害危機管理対策事業 日吉左岸地区	測量試験及び実施設計、排水施設整備
20	常呂地域排水対策事業 福山・日吉地区	水中ポンプ等整備
21	農業水利施設保全合理化事業（機能保全）姉問	事業計画樹立
22	明渠排水路取付横断管応急対策事業	明渠排水路取付横断管応急整備
23	排水機場施設設備整備事業	第一幹線・福山・姉問・日吉の各排水機場の設備機器修繕等
24	幹線排水路維持管理事業	イワケシ・11号排水路の土砂上げ等
25	基幹水利岐阜排水機場更新事業	水中ポンプ・水位計・監視操作卓入出力中継版更新

《着地型観光の推進》

26	手工芸の館整備事業	屋根・外壁・スロープ改修
27	常呂森林公園整備事業	アスレチック撤去、バーベキューハウス浄化槽設置
28	地域おこし協力隊事業	ところ観光コンサルジュ

4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

《環境に配慮した循環型社会の構築》

29	常呂町斎場整備事業	炉壺台車耐火物打替、主燃焼炉及び耐熱扉セラミック張替、主燃焼炉・再燃焼炉バーナー取替、排気筒耐火物積替
30	常呂町一般廃棄物処理センター整備事業	脱窒円板槽機器改修、廃プラスチック圧縮減容機更新、屋外フェンス取替、ストックヤード入口門扉取替等
31	塵芥収集車更新事業	塵芥収集車更新
32	し尿収集車更新事業	し尿収集車更新

《道路網の充実》

33	常呂町基線道路整備事業	道路改良工事
34	常呂町南町1号線道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事
35	常呂町川端線道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事
36	常呂町川東線(日吉地区)道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事

《公共交通の確保》

37	市営バス更新事業	市営バス更新
38	建設機械更新事業	除雪トラック(専用車両)購入、除雪グレーダ更新

《良質な住宅・住環境の形成》

39	普通財産建物解体事業	普通財産建物（住宅）解体撤去
40	市営住宅建替事業（北進町団地）	北進町（福祉住宅）団地解体工事、北進町団地建設工事（基本・実施計画、用地地盤調査・用地確定、建設工事）
41	市営住宅改善事業	市営住宅南町・栄浦団地改善工事
42	市営住宅建替事業（末広団地）	東浜団地解体工事

《水道水の安定供給と下水道の確保》

43	原水及び浄水施設整備事業	滅菌設備更新、減圧弁設置・減圧弁室制作工事
44	送配水施設整備事業	ポンプ場流量計更新、非常用電源購入
45	水道施設耐震化事業	水道施設耐震診断
46	特定環境保全公共下水道污水管渠整備事業	公共污水柵設置
47	特定環境保全公共下水道処理場整備事業	水質試験機器更新、ボイラー設備更新、水処理・汚泥処理設備更新
48	栄浦漁業集落排水施設整備事業	機能保全・修繕改築計画策定

《防災の強化》

49	日吉地区複合施設整備事業	防災機能を備えた複合施設の整備
50	常呂町17.5号線道路整備事業	測量設計、道路改良・舗装工事

《地域の安全の確保》

51	常呂自治区市街地排水対策事業	移動式排水ポンプ、発電機購入
52	常呂町6号線道路排水整備事業	調査・測量、設計、排水施設整備

《その他》

53	常呂除雪センター施設整備事業	除雪車両車庫改修、除雪センターシャワー室増設
----	----------------	------------------------

5. 市民による自主自立のまちづくり

《住民自治の推進》

54	常呂まちづくりパワー支援補助金	地域住民のまちづくり活動に対する支援（補助金）
55	地域会館改修補助事業	南町会館の改修に対する支援（補助金）

【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	8月30日(木) 午後6時00分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	10月18日(木) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月24日(水) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H30.6.14～H32.6.13】

	氏 名
委 員	石 澤 園 江
委 員	久 世 和 徳
委 員	近 藤 圭 介
委 員	塩 田 美 幸
委 員	新 谷 有 規
委 員	鈴 木 倫 子
委 員	内 匠 英 樹
委 員	田 淵 春 美
委 員	敦 賀 信 人
◎会 長	中 村 弘 幸
委 員	野 辺 心
委 員	安 田 圭太郎
委 員	山 内 優里子
○副 会 長	山 本 穎 治
委 員	吉 田 富美江

50音順